

令和3年度 社会福祉法人こうち福社会事業報告



障害福祉サービス事業	： ライフ・ステージ あおぞらセンター（定員30名・実員29名）
	ライフ・ステージ 蒼空舎（定員40名・実員45名）
	ライフ・ステージ 第2あおぞら（定員20名・実員21名）
	ライフ・タウン あおぞらホーム（定員100名・実員92名）
	ライフ・タウン 蒼空舎（定員9名・実員8名）
相談支援事業	： ライフ・サポート あおぞら

いきいき工房 クッション

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

1、人員について

- ・メンバー11名：支援員2名（いきいき工房内兼任）
袋とじ＝職員対応、袋縫い＝職員対応、シーラー掛け＝2名、計量＝1名、袋詰め＝2名
ほぐし＝5名、オイルパッド箱詰め＝1名
※大量生産時には、いきいき工房内全体で作業に参加した。
- ・マシン（袋とじ）は、検品をする為に支援員が行った。



2、利用者活動

- ・コロナウイルス感染対策のため、毎日の検温、手洗い、うがい、消毒を習慣にできるように見守り、声掛けを行った。天気の良い日だけに限らず、1年を通して冷暖房を利用しながら常に換気を行った。併せて、マスク着用ができるメンバーについては正しいマスク着用の声掛けを行った。
- ・希望者には、ほぐしケースを使用してもらい、ブレンド作業では吸塵器を取り付けてホコリ対策を行った。メンバーにはメガネ、マスク、白衣、帽子を着用してもらい、室内に空気清浄機や加湿器を置き、快適な空間になるように気を付けた。作業後は、掃除機をかけて粉ホコリが残らないようにし、身体に付いたホコリはハタキで除けた。
- ・ケースを使用できるメンバーが、時々準備が抜かることがあり、声掛けを要した。
- ・エアコン、空気清浄器、加湿器のフィルター掃除をこまめに行なった。
- ・作業前には量りの目盛りにズレが無いか支援員が確認を行い、シールを貼った所を目印に定められた量での計量の徹底を行った。また、汚れや不純物がある場合は支援員に声掛けする等、品質維持を心掛けた。
- ・毎朝の30分の散歩と、コロナウイルスの感染防止に気を付けながら、余暇活動の提供を行ってきた。



- ・他の作業との兼ね合いもあり、計量やブレンド、袋返し等をいつもやっているメンバー以外にもできるよう少しずつ育成した。



3、受託製造

- ・ 納入先… (株) 環境機器
- ・ 納品

令和3年度 クッション月別納品表

単位：箱 PEシートのみ：枚

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
すいとるS	7	7	13	11	10	27	8
すいとるS(45g)	0	0	0	0	0	0	0
すいとるシート	0	0	0	0	0	0	4
すいとるL	8	0	2	18	0	0	10
すいとるオイル5L	23	15	12	18	34	0	21
すいとるオイル2L	0	17	7	9	3	11	13
PEシート	0	0	0	0	0	0	0
合計	38箱 0枚	39箱 0枚	34箱 0枚	56箱 0枚	47箱 0枚	38箱 0枚	46箱 0枚
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
すいとるS	15	24	23	40	15	200箱	
すいとるS(45g)	0	0	0	0	0	0箱	
すいとるシート	0	0	2	0	2	8箱	
すいとるL	9	1	10	0	0	58箱	
すいとるオイル5L	23	20	19	0	16	201箱	
すいとるオイル2L	15	10	14	0	18	117箱	
PEシート	0	0	0	0	0	0枚	
合計	62箱 0枚	55箱 0枚	68箱 0枚	40箱 0枚	51箱 0枚	584箱 0枚	

4、留意

資材仕入れに関しては、(株) 環境機器から入れている。

10月以降忙しくなるので、環境機器から3か月ほどの発注予想数を把握しながら在庫確保に努めた。しかし、予測不可能な受注もあり、生産に時間を要した。

いきいき工房 箱折り

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

四国ダンボールから、内職依頼があり話を聞いた。1枚の大きなダンボールから2枚の紙を切り抜いて組み合わせる中敷折の内職だった。

誰でも出来そうな作業で、返事をしたがその後、コロナの影響で内職作業がなくなった。

1、人員について

利用者2名：支援員2名（いきいき工房内兼任）

仕事がなく、クッション作業へ異動した。

2、留意

コロナウイルスによる影響が大きく、with コロナで仕事を取り戻せるか、状況を見ながら今後は探っていきたい。

いきいき工房 菓子袋詰め、薬味入れ、乾燥こんにゃく

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

菓子袋詰め

1、人員について

メンバー7名（いきいき工房6名、あみおり工房1名兼務）

支援員2名（いきいき工房、あみおり工房兼務）

2、利用者活動

- ・直接口に入れる食品を計量しているため、別室で作業を行った。
- ・ネット帽子、白衣を着用し、手洗いやうがい、消毒は元より室内に入る前の埃取り（ローラー）、作業専用のスリッパに履き替えて行った。また、衛生面全般として爪切りや入浴の声掛けを行い、家族にも協力依頼をした。
- ・クッションや、手袋作業と並行するため、計画立てて作業を行い納期に間に合うよう流れを作った。
- ・作業開始してから1年が経過し、メンバーも少しずつ慣れて、スピードを速めることができるようになった。そのため、突発的な納品日や増量にもこたえることができるようになってきている。しかし、急いでしまうが故に雑になりそうな場面も見られるので丁寧に行うよう話をして取り組んできた。



3、内職作業

- ① 納入先…高知県特産品販売
- ② 納品



令和3年度 作業月別納品表

単位：袋

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ミレービスケット ×芋けんぴ	2395	3596	1201	1197	3595	3596	2399
土佐の 生姜飴	0	0	0	889	0	0	901
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
ミレービスケット ×芋けんぴ	3600	3610	1201	1200	2404	29994	
土佐の 生姜飴	1785	0	891	0	892	5358	

③ 留意

製造依頼より 2 週間前に依頼書の通知が来るが在庫がなくなると電話でのやり取りを行いながら取引先の要望に沿うよう、作業を組み立てた。芋けんぴの短いもの、ミレーの割れを選別しながら出来た数量だけ納品している。

賞味期限印字を間違わないよう、取引先と共通認識ができるよう FAX で記載した用紙を送り確認してきた。納品 1 回毎に、余った材料や原料を返品しているため、在庫管理はない。

薬味入れ

1、人員について

メンバー 11 名 (いきいき工房内兼務)・支援員 2 名 (兼務)

薬味は〈しょうが・にんにく・わさび〉3 種類の組み合わせと〈しょうが・にんにく〉2 種類の組み合わせ作業がある。シーラー掛けは点検も兼ねて、支援員が行った。

2、利用者活動

- ・食品を扱う自覚を持ち、衛生面に配慮した。
- ・手洗い、うがい、消毒の励行を行った。作業前には作業台を拭き、道具を準備した。
- ・決められた期限に納品出来るよう計画的に取り組んだ。

3、内職作業

- ① 納入先…パステム・マツザワ
- ② 納品

令和3年度 薬味入れ月別納品表

単位：袋

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
薬味入れ	2768	7055	6082	6058	2021	0	5016
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
薬味入れ	6000	8000	0	0	0	43000	

③ 留意

数日間の集中的な作業になる為、他の作業と同時に計画を立てながら取り組んだ。支援員がシーラーの際向きや数の確認を必ず行った。保管には最善の注意を払う。

——— 乾燥糸こんにゃく ———

1、人員について

メンバー2名（クッション兼務）・支援員1名（兼務）

2、利用者活動

- ・食品を扱う自覚を持ち、衛生面に配慮できるよう声掛けを行った。
- ・手洗い、うがいの励行、帽子・マスクの着用の習慣化、また作業開始前には必ず作業台を拭き、乾燥糸こんにゃくの道具を準備した。

3、内職作業

① 納入先…生協等 *仕入れはトレテス熊本

② 納品

- ・生協…不定期に注文がある。2～3ヶ月程前から、納品依頼のFAXが入る為に計画的に製造を行う。
- ・よさこい工房…給食での使用分、日曜市やバザー等の販売分を取りまとめて注文がある。
- ・個別販売…不定期にある。

令和3年度乾燥糸こんにゃく月別納品表

単位：袋

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
しこくコープ	0	0	107	0	0	0	0
よさこい工房	0	0	59	0	0	84	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	166	0	0	84	0
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
しこくコープ	0	0	0	0	0	107	
よさこい工房	0	74	0	0	0	217	
その他	0	30	0	0	0	30	
合計	0	104	0	0	0	354	

③ 留意

賞味期限を確認しながら、納品先を配慮した。

いきいき工房 お楽しみ活動

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター

イエローレシートで買い物 (4月15日)
あじさい鑑賞 (6月8、9日)
吉原ふれあいの里 川遊び (7月29日)
健康診断 健診バス (9月1日)
芋堀り&焼き芋 (11月2日)
あおぞらスポーツ大会 (11月9日)
障害者作品展 (11月20日)
みかん狩り (12月3日)
クリスマス会 (12月24日)
みんなで大掃除 (12月28日)
健康診断 西病院 (1月11、13日)
新春スポーツ大会 (2月3日)
お花見 (3月29日)
あおぞら体操 (毎月1~2回程度) ※コロナで変動あり
いきいき100歳体操 (月1~2回程度)
あおぞら会 (月1回)
移動図書館 (月1回)
あおぞら映画鑑賞会 (月1回)
清掃活動 (毎週水曜日)
イエローレシート活動 (自粛)
バーベキュー (8月3日 コロナ対応自粛)



※合同活動も含む。令和3年度は事前に計画を立てていてもコロナの発生状況により中止した行事や形態を変えて取り組んだものもある。従来に比べお楽しみ活動は減っている。

いきいき工房 コロナウィルスによる事業所閉鎖について

- ・職員の同居家族が陽性 3日間閉鎖 (令和3年8月23日~25日)
- ・職員の同居家族が陽性 2週間閉鎖 (令和4年2月26日~3月10日)



あおぞらカントリー 畑ばたけ

継続B ライフ・ステージ 蒼空舎
生活介護 ” あおぞらセンター

支援員：宮内 知志、川村 哲也、伊東 昌彦、谷脇 豊実

1、人員について

利用者15名 畑作業（あおぞら6名、蒼空舎3名）

ニラ調整作業（蒼空舎7名）

支援員 5名



① メンバーの育成

個別支援計画の目標に添い、作業面、生活面の課題はもちろん、長期に続くコロナ禍の状況を加味し清潔動作の徹底に力を入れ取り組み支援を行った。

職員が主にやっていた作業にも、作業の手法を模索しメンバーに提供することにより、挑戦してもらい作業に対し前向きになれるよう支援を行う。

多様なメンバーがいる中、メンバー間の関わりあいを円滑に保てるよう、職員間でメンバーの現状を把握し支援した。

② 実習生の受け入れ

実習の要望があれば、積極的に受け入れた。また、卒業後の進路として、当法人が選択肢となれるように意識して実習生の対応を行ってきた。

③ 新規利用者

R4年2月 1名 50代男性を畑作業に受け入れる。

R4年3月 1名 高等学校卒業男性を畑作業に受け入れる。

2、利用者活動

・体調管理に気を配る。夏の暑い時期は、休憩の回数を増やし、塩分補給に塩飴、水分補給にポカリを取り入れた。猛暑日などは、炎天下での作業を避け日陰になる原木ハウスなどで環境整備を行う。冬雨の時なども、ハウス内で作業したり、環境整備などに切り替えた。

・タオルや着替えを各自で用意し、汚れたり濡れたりした時に取り換えるよう支援を行った。また、帽子、長靴、軍手の着用を徹底させ、作業に対する準備を意識させた。

・作業後の手洗い・うがい・消毒などを支援する。畑での汚れを施設に持ち込まないよう声掛けをまめに行った。

3. 自主農園製品

①果樹栽培：果樹園

・桃

伊野町八田に圃場を準備。加工用に使用する天津桃を栽培。天津桃の苗木の購入が難しく、桃の接ぎ木用の台木を購入し、穂木を南国の天津桃を栽培している方から頂き、繁栄農園にて接ぎ木をしてもらい管理してもらっている。

現在圃場には混植用の桃（千代姫）3本を植栽している。来年度、植え付ける天津桃の苗木、圃場整備・栽培管理を適宜行っている。

・柿

伊野町八田の圃場にて栽培。現在、次郎柿10本、前川早生次郎柿13本、西条柿（渋柿）1本、計24本を植栽中。前川次郎柿に関しては8本ほど一年生の苗木を植付けており、圃場の草管理など特に気をつけている。栽培管理を栽培暦を用い適宜行っている。

・梅

伊野町八田の圃場にて栽培。南高梅10本を植え付けている。一年生・二年生苗を植え付けており枯れてしまわないよう、圃場管理、栽培管理に力を入れている。

②花卉栽培：花ハウス

・仕入れ

今年度はプランター用に栽培した花卉を利用したため市場はあまり利用しなかった。観葉植物については、出来るだけ再利用を心がけ、必要最低限の仕入れに留めた。肥料やポットなどの必要資材についても計画的に購入した。

・栽培作業

今年度は栽培管理において、気候変化に対応しきれず、パンジーやビオラは時期が少しずれてしまうことがあった。適切な管理、育苗に今後も注力していきたい。

・販売活動

主にハウス前やおおぞら前の良心市で販売している。毎年購入してくれている学校、保育園、新たに高知市社会福祉協議会にも花苗の購入をしていただいた。

リピーターとして直接ハウスに来て話しかけていただき購入してくれる顧客も増えてきている。プランター植栽で使った花など状態の良い物は、手入れをし、良心市で販売した。



③露地栽培

・仕入れ

肥料や薬剤、消耗品など必要な物を無駄にならないよう計画的に購入した。

・栽培作業

加工用大根：今年度は、生育期に雨量が少なくスの入った大根が少し見られたが、概ね形は良く無駄なく法人内よさこい工房にて加工に使用し、地域での販売を行った。

さつまいも：主に幼稚園の芋ほり用に栽培している。今年度はコロナの影響で芋ほりが心配されたが、2つの保育園が芋ほりを開催してくれた。生育に関しては、マルチ栽培という事もあり、従来より遅く植え付けを行ったが、しっかりした大きさの芋が収穫でき利用者も交流を楽しむことができた。

カボチャ：少しずつであるも、安定した栽培が行えるようになってきた。販売も好評だった。

白菜：今年度はオレンジクイーンを主力として栽培をした。例年より害虫が多く発生したが、防除に努めたので被害を最小限に抑えることができた。喜んでもらえる野菜づくりができた。

玉ねぎ：収穫、その後の手入れを速やかに行う事ができた。今年度は、収穫期に多く雨が降り、生育が心配されたが無事に収穫できた。梅雨を控え、目下販売に追われている

・販売活動

野菜の販売先は、スーパーの直産市、日曜市、飲食店、給食、弁当屋、よさこい工房、保護者等で出荷した。今年度もほぼ無駄なく販売することができた。

※ 圃場の集約

1か所の圃場を返却。今後は自法人圃場を除いて、芳原周辺へ集約していく。

④椎茸栽培

・仕入れ

助成金① 本年度は地域林業総合支援事業補助金の交付を受ける事が出来た。

原木：西土佐村森林組合にて仕入れる。いつもは石数での注文であるが補助金交付要綱が本単位であった為、6000本仕入れた。

種駒：森産業㈱にて10万（にく丸5万、金太郎5万）駒を仕入れる。

備品：通販にて最安値を調べ設備を行った。

・栽培作業

主な作業（接種、仮伏せ、本伏せ）には職員2名、利用者4名で行った。

いつも原木の搬入が遅れる事があり年度をまたいでしまい4月まで時間が掛かっていたが補助金の関係もあり森林組合も協力して頂き年度内で終わらす事が出来た。



天候の不安定による高温多湿状態が年々多く管理が難しくなっており仮伏せ、本伏せ場の原木に病害（ラクテア、トリコデルマ）が出てしまい殺菌剤を全体に散布、また害虫による食害が年々増加している為に殺虫剤も並行して散布した。

収穫時期に気温の変化、特に生育温度を超える気温なったり逆に下がったりと成長期と散水管理が上手くいかず収量が昨年度より下がってしまった。今一度、状況を確認し関係各所に相談しながら改善をしていく。

収穫量 2、541.5kg（昨年度 2、809.3kg） - 267.8kg

・販売活動

販売先は野市青果店、サンシャイン（太陽市）、華珍園、センター前良心市、よさこい工房、JA（春の里）、サニーマート（はるの市）A-MAX、土といのち、日曜市、第二、保護者、グループホーム、バザー等の販売があった。

品質をA品、B品、C品とランクを付け、A品、B品は生椎茸で販売し、C品はスライスで乾燥椎茸にし、よさこい工房に協力して頂き販売を行った。

例年より質は良かったが成長期の気温が高かったため、収穫量が減少し売上も下がってしまった。
売上 2、036,017円（昨年度 2、274,179円） - 238,162円

⑤きくらげ栽培

・仕入れ

菌床：森産業㈱にて120床を仕入れた。

備品：通販にて最安値を調べ栽培設備を整えた。



助成金② 年度末に障害者生産活動支援事業補助金の交付を受け、散水設備と換気設備を入れることが出来た。令和4年度から使用可能。

・栽培作業

岩手県にある(有)アグリプランの吊棒栽培を採用し構想から1年半かかったがテスト的の少量栽培ではあるものの開始することが出来た。

まだ初めての栽培であったので菌床を吊棒にセットする作業や定期的にハウス内の清掃が必要な時に利用者2~3名で行いその他は職員1名で対応した。

設備もまだ不十分で試行錯誤ではあったが目標の1つであった1床辺り約1kg以上の収穫量を記録する事が出来た。課題は石突き処理、洗い等の細かい作業に時間がかかってしまう事やその作業に利用者が難しくほぼ出来ていないのが現状。作業のやり方を工夫する事が今後、菌床の栽培数拡大に対しての必要事項である。

収穫量 134.9kg（処理後 115.3kg）

・販売活動

販売先は主にスーパー等の量販店を中心にサンシャイン（太陽市）、JA（春の里）、サニーマーケット（はるの市）A-MAX、個人向けで販売をした。また実験的に乾燥ハウスで行った乾燥きくらげをよさこい工房で佃煮加工に使用してもらった。

売上 204,206円

⑥ニラ調整作業（野市青果委託）

作業については、利用者7名、職員3名で行っている。ニラの状態により仕上りの量が変わってくるが、良い時は40箱できる事もある、また悪い時でも30箱できる様に手順の確認を日々行っている。

そぐり機・・・利用者3名で行っており、流すスピードや置き方によって、きれいにそぐれず手入れに時間が掛かったり、ゴミ箱へ良いニラが落ちて歩留まりが悪くなっていたので、その都度の声掛けや手順の確認が必要であった。

手入れ・・・そぐり過ぎたり葉先の枯れの除け抜かりや除け過ぎなどがあり、仕上り量が安定しない事が多い。

計量・・・利用者6名で行っており、手入れをしながらと手入れ済みと2パターンで取り組んでいる。手入れをしながらだとスピードが落ちるが、手入れ済みになるとスピードも良く目標以上の作業量が出来ている。

結束機・・・職員1人で最終検品と箱詰めを行っている。

作業賃 1束10円 1箱50束500円

1年間の売上 1,912,000

（昨年度売上 1,893,000円）

野市青果ニラ栽培部門も立上げて3年目になるが、植え替え時期などは作業が休みになる事があった。また、野市青果自体でも調整作業を行っており回ってくる原体の量が少なくなったり、ニラの生育待ちで休みになったりする事があった。

課題としては、歩留まりが悪いと言う事を言われており利用者には、そぐり過ぎない様に手順の見直しをして取り組み、現在は歩留まりが7割以上になっている。

4. 今後

長期に続くコロナ化の影響を考え、利用者の安全面を第一に考える。利用者の新しい可能性を引き出せるよう作業を通して支援を行っていく。

現在の畑事業全般を鑑みて、新しくスタートした果樹栽培を成功させるため、畑の圃場を整理し、栽培品目を縮小し限定していく事を考えていく。

よさこい工房 食品加工

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター
就労B " 蒼空舎

管理者：鎌倉 節子

令和3年度も新型コロナウイルスの影響が続いたが、売上は前年比104%で前年並みを維持することができた。また、既存商品の仕様変更の試作を重ね、「こだわり商品」として一定の質を上げることができた。令和4年度よりリニューアル商品として積極的な販売を始める。

1 利用者について

①現在就労している利用者は、リーダーになれることを目標に頑張ることができた。

瓶詰やシーラーかけのスキルアップを目指した支援を行った。

②法人内の利用者2名が作業体験を行い、そのうち1名が11月から3月まで継続できた。



2 製造について

①新たな冷凍庫を設置することで、全ての原材料を法人内4か所で保管できるようになった。在庫管理等を適切に行うための仕組みづくりは継続課題。

②商品の在庫確保のため計画的な製造を行っているが、(ゆず・文旦マーマレード、苺・新高梨ジャム)については製造が追いつかず在庫に余裕がない状況。

③佃煮・シロップ類の調味料変更による商品改良の試作を重ね、リニューアル商品が完成した。R4年4月から出荷を開始する。「原木椎茸」に続き「きくらげ」も自家製の使用を始める。

④衛生管理を徹底し、感染者ゼロで製造を続けることができた。

3 営業活動について

①商談会に積極的に参加した。(オンライン3回、対面2回)

参加をすると成果は見られるため、十分な感染対策を行い、可能な方法で参加した。

②販促物を充実させるため、コピーライター、カメラマンに商品イメージ画像やキャッチコピーを依頼した。商談会や商品紹介に有効活用することができた。

③令和3年度も新型コロナウイルスの影響で、県内取引では、引き続き土産物店や飲食店からの受注の減少、バザー・日曜市への出店休止等が売り上げ減少の一因となった。

県外においては、顧客の健康志向の高まりが追い風となって、主にジャム・マーマレードを求める



新規取引先が10社増。また、既存取引先2社の販路拡大やリピートにより売上が前年比125%と伸びてきた。

またローソンの「こだわりギフト」や、ドトールコーヒー（カフェレクセル）との取引実現など、こだわり商品として「あおぞら蒼空舎のジャム・マーマレード」が認知されつつあることを実感した。

④高知県による事業戦略策定支援を受け、3年後に向けた事業戦略を策定した。

4 収支の見える化と、原価計算

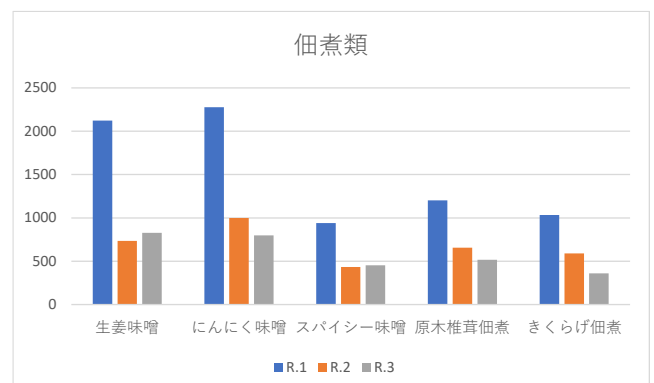
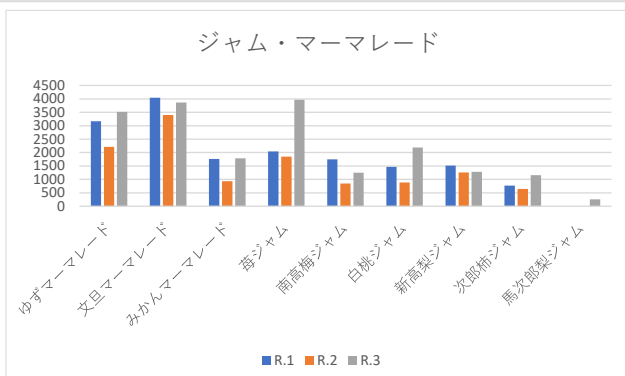
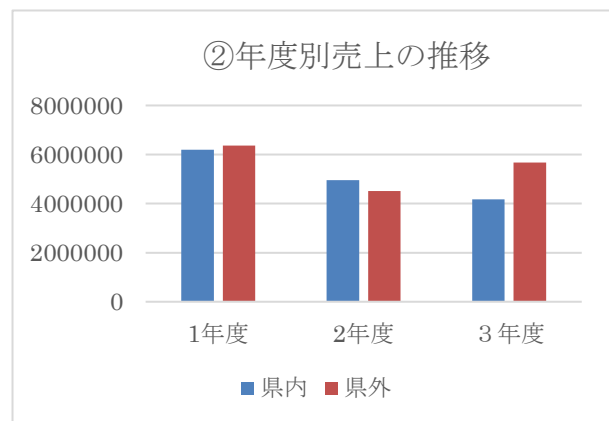
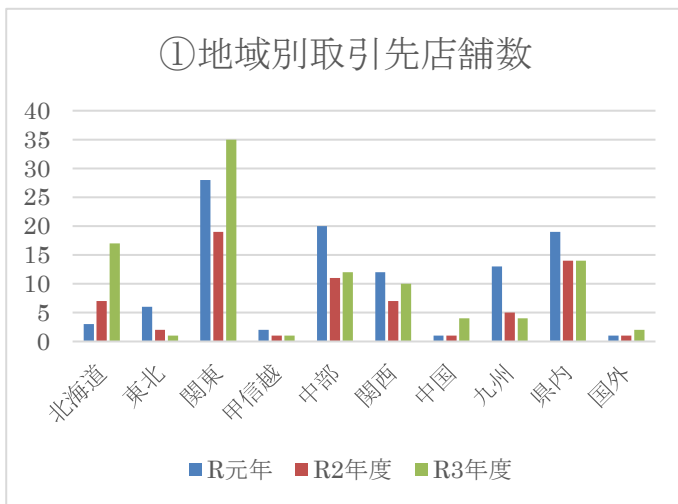
IT補助金を利用し、在庫・販売管理システム（商魂、商管）を導入。

システムの操作指導を受けている。今後、在庫管理と収支の見える化を図り、適切な仕入れを行う。

5 課題

- ① 現状の施設設備および人材で、可能な製造計画をたて安定供給を目指す。
- ② 利用者の力量アップ。
- ③ 高知県版 HACCP 新第3ステージの認証および運用。
- ④ 新しい生活様式にも対応でき、持続可能な販売手段としてホームページを見直し活用する。

※取引先店舗数は北海道、関東で増えており、売上も県外が前年より伸びている。
商品別で見ると、ジャム・マーマレードが前年比160%、佃煮類が前年比87%



1、人員について

メンバー14名：支援員3名

コロナウイルス対策として、利用中のGH（他法人）が自主的に外出禁止対応をしたメンバーがおり、その方は2月、3月は一日も出勤出来ていない。定期的に電話連絡をし、出勤意欲が低下しないような声掛け等の支援を行っている。

特別支援学校からの実習生受け入れを行った。

2、メンバー活動

- ・コロナウイルス対策として玄関での検温、消毒を行ってから入室する様にし、現在も継続している。同居家族のコロナウイルス感染が疑われる場合や、県外からの帰省者との接触があった場合には、2週間の欠席での対応をお願いした。
マスク着用での出勤や帰宅してからの手洗いなど、新しい生活様式を取り入れていける様に声掛けや全体への話を行った。
- ・ISO9001の維持審査をリモートで行い、特に問題なく審査を終えている。支援員だけでなく、メンバーにもISO9001の取り組みを理解してもらうため、手洗いの講習、掲示物の提示を行い、作業場全体で衛生面の向上に努めた。
- ・包丁が使用できるメンバーが少ないため、包丁が使えるメンバーの育成（1名）を目指し取り組んできた。生姜カットやパプリカカットなど比較的安定してカットできるようになっている。
- ・年に1回、健康診断を実施し、メンバーの健康管理にも気を付けた。体重過多や運動不足のメンバーがいたため、ウォーキングや体操などの運動を促した。
- ・よさこい工房での実習を実施した。結果、1名が今春よりよさこい工房での作業に従事している。

3、作業

・取引先一覧

サニーマート惣菜工場：野菜下処理、冷凍・粉袋詰め

ゆず王国：ゆずトリミング

やまくに：いりこ粉計量、野菜スライス

厳選：さつまいもペースト作り

岡林農園：文旦果肉用下処理

御菓子司小笠原：文旦下処理

高知特産品販売：ゼリーシール貼り

よさこい工房：生姜スライス・皮剥ぎ



- ・今年度は、岡林農園、御菓子司小笠原からの作業依頼はなかった。



R3年度売上報告

総売り上げ 7,802,070円 前年比 122.3%

	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9
売上	613,800	625,942	611,345	747,811	795,916	801,444
前年比	115%	120.1%	97.9%	127.9%	133.3%	125.2%
	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3
売上	656,171	586,968	658,460	573,421	541,147	589,645
前年比	102.3%	134.4%	162.4%	167.2%	132.6%	92%

4、留意

- ・作業に特化した部署作りを目指し、各自の作業能力の向上を目標としてきた。また一般就労を視野に入れ、社会人としての自覚や言葉遣いが身につくように話をしてきた。
- ・売上目標として1000万を目指し作業に取り組んできたが、総合計780万、前年比122.3%という結果となっている。ファクトリー会の際に売り上げアップを目指した取り組みを検討し、ゆず王国作業量を増やしていける様に取り組んできた。
- ・コロナウイルスの影響による注文量減少、取引中止が売り上げ減少の原因となっているため、今後新規取引先を増やすなどの対策が必要。またその際は、文旦作業が集中する時期を避け、サニーマート、ゆず王国、その他作業の三本柱で売り上げを確保していくことが出来る様にしていく必要がある。

あおぞらファクトリー あみおり工房

就労B ライフ・ステージ 蒼空舎
生活介護 あおぞらセンター

サービス管理責任者：清藤 美和

1、人員について

① メンバーへの支援

メンバー20名（あおぞら9名、蒼空舎11名）

支援員5名（あおぞら2名、蒼空舎3名）

6月から女性メンバー（蒼空舎籍）1名がニラ作業からあおぞら手袋で実習となる。

11月から男性メンバー（あおぞら籍）1名が畑作業へ移動となる。

2月1日付で、女性メンバー（あおぞら籍）1名が蒼空舎籍に移行となる。

② 実習生等の受け入れ

実習や見学等については、新型コロナウイルス感染対策の為、実習前からの行動の自粛や毎日の検温等をお願いし、可能な限り受け入れを行った。



③ 支援員のスキルアップ

メンバーへの支援については、各支援員が障害特性を理解し、共通認識のもと支援が行えるように、研修や必要に応じてケース会等の話し合いの場を持った。作業面においては、県内の手袋事業者との連携を継続し、技術の向上に努めた。

④ コロナウイルス対応 蒼空舎閉鎖について

メンバー1名とその同居家族が陽性 12日間閉鎖 (2週間 2/21~3/2)

2、利用者活動

- ・メンバー1人1人の特性に配慮しながら、仕事意識を持って、取り組めるよう支援を行った。個別支援計画に則り、個々の目標を意識した支援を行った。
- ・メンバーの作業は、流れ作業となる為、全体の流れを意識した作業が行えるよう支援を行った。
- ・作業量については、個々の目標数を設定し、達成感を感じ意欲に繋げていけるように支援を行った。
- ・蒼空舎では、作業内容が多岐にわたる為、それぞれのメンバーが複数工程を担当できるように支援を行った。
- ・センターでは、毎日の散歩、体操教室等の活動を取り入れながら、作業にも取り組んだが、コロナウイルスの影響で、活動を休んだ時期もあった。
- ・コロナウイルスへの対応として、手洗い、消毒、マスク着用を徹底するが、マスクについては、常時着用が難しいメンバーもおり、状況に応じての対応となった。また、作業時も、可能な限り座席を離し、室内の定期的な換気も行った。

3、自主製品

① 仕入れ・製造

- ・材料費については全体的な値上げもあり、厳しい状況が続いた。値上げ前には、まとめた仕入れを実施し、支出も大きくなった。
- ・残糸については、糸自体が減少傾向にあり、安定した確保が難しくなっており、取引先と電話でやり取りをしていたが、こちらの要望を伝えきれていない事もあり、直接訪問して、残糸の確認と今後の依頼を再度お願いした。カラー手袋シリーズについては、縮小傾向にある。



- ・材料及び編み機部品の在庫管理を徹底し、早めの発注を心掛け、在庫が途切れることのないようにした。
- ・製造については13台の手袋編機で稼働をした。
(7GM 8台、7GS 1台、指だし 1台、10GS 3台)
- ・納品については、受注が重なると追いつかず、在庫確保が課題となった。
- ・編機の運転については、2名の支援員が対応し、作業日のみ稼働し、必要に応じて夜間運転を実施した。
- ・編機の管理については、カワムラ手袋、大勝製造所、島精機に必要に応じて、相談をした。
- ・大勝製造所の下請け作業は、夏から冬にかけて受注が大量にあり、売り上げも伸びた。



② 販売

- ・これまでの取引先とは、継続した取引ができていたものの、コロナウイルスの影響（取引先の休業等）により、受注量は減少しており、厳しい状況が続いた。
- ・新たな取引先として2社（（有）アカオ商事・高知上下水道）と取引を開始した。
アカオ商事については、門田商店の協力で一緒に営業活動を行い、取引開始となった。今後も営業活動を行っていく。
- ・顧客リストを活用し、顧客管理を行った。

4、留意

下請け作業でクレームがあり、Wチェックの徹底と品質管理に努めた。より一層、あおぞらセンターと連絡を取り合いながら作業を進めることを大切にしました。

あおぞらカンパニー

就労B ライフ・ステージ 蒼空舎

サービス管理責任者：黒沢 圭子

グループ就労

シーサイドホーム桂浜・つむぐ……………メンテナンス業務

1、人員について

メンバー5名 支援員 1名

委託先でコロナ陽性者がでた為、一時的にメンバーを2～3名体制にした時期があった。令和4年度は、委託先の申し入れで、委託費の減額及びメンバー4名体制となる。

2、利用者活動

- ・作業開始前に、その日の作業確認を行い、開始することで、スムーズに取り組むことができた。
- ・水曜日（公休日）には、交代で蒼空舎に出勤し施設内作業に参加をした。
- ・感染対策として、入室前の検温、マスクの着用、手洗い消毒等を徹底した。
- ・委託先でコロナ陽性者が出た時には、グループホームにおいては隔離体制をとりつつ、業務については、委託先の指示に従う対応をした。

3、就労活動

公休日 水曜日、日曜日、1月1日2日

勤務時間 9：00～16：30

新型コロナウイルス感染対策の為、メンテナンス業務を下記の期間休業とした。

- ・8月2日～15日（14日間）
- ・2月26日～3月3日（6日間）

4、留意

- ・祝日等の業務もある為、緊急時の連絡先はあおぞらセンターとする。
- ・支援員が交代で業務に入る日を設定することで、メンバーへの支援、業務の水準の維持に努めた。

ライフ・ステージ 第2 あおぞら

（リサイクルショップ、あおぞらショップ、バザー、メール便）

就労B 第2 あおぞら

サービス管理責任者：下元 真人

1、人員(事業所全体)について

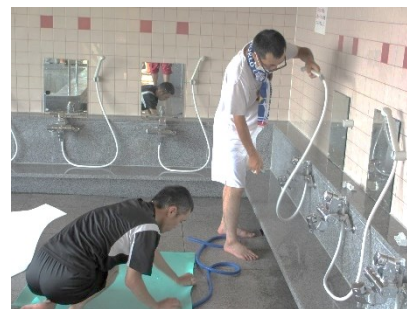
- ・メンバー21名に対して、常勤支援員3名、サビ管（管理者兼務）1名、調理員1名の体制で支援を実施した。
- ・清掃作業は担当職員1名にメンバー7名、リサイクル販売は職員1名にメンバー8名、その他活動（メール便含む）は職員1名にメンバー6名、として支援にあたった。

2、利用者活動

- ・メンバー本人、ご家族様から希望や目標等を聞き取り、支援計画を作成し、それに沿った支援を提供した。
- ・担当する作業のみならず、色々な作業に参加してもらい、適性を見極めながら、将来の選択の幅を広げるよう支援した。
- ・健康管理、体力づくりを目標に取り組んだ。
- ・感染対策を徹底して各事業に取り組んだ。

感染リスクの高い場所での作業は避けるようにした。
使い捨て手袋の利用、手洗い消毒、正しいマスクの着用等を支援した。

食事場所や休憩場所の分散、パーテーションの設置等、
昼食時や休憩時間の感染対策を徹底した。



3、作業内容

① リサイクル販売実績

平成30年度売上	4,422,470円
令和1年度売上	4,165,830円
令和2年度売上	3,813,400円
令和3年度売上	2,911,800円

- ・販売部門がコロナ禍の影響を強く受けている。新規のお客さんは全く来ない状態。
- ・一部の固定客が毎日のように来店してくれて、なんとか営業を続けてきた。
- ・新しい商品が入荷すると常連客に電話で連絡、売り上げの確保に努めた。

② 食品販売実績

文旦 販売期間 2月～3月

平成30年度売上	283,000円
令和1年度売上	200,000円
令和2年度売上	111,000円
令和3年度売上	0円

- ・不作のため全く取り組みができなかった。

新高梨 販売期間 9月後半～10月

平成30年度売上	140,000円
令和1年度売上	20,000円
令和2年度売上	68,000円
令和3年度売上	51,000円

- ・学校関係中心に、電話連絡、郵便、ファックスで営業活動。
- ・家庭用(袋入り)は収穫量が少なく、ほとんど取り組めなかった。

センター加工食品等(ミカンの袋入り含む)

平成30年度売上	375,000円
令和1年度売上	316,000円
令和2年度売上	157,000円
令和3年度売上	51,000円

- ・コロナ禍のため来店客が激減、店舗での食品販売がほとんどできなかった。



蒼空舎野菜（千円以下四捨五入）

平成30年度売上	73,000円
令和1年度売上	191,000円
令和2年度売上	35,000円
令和3年度売上	52,000円

・来店客、店舗前の人通りが激減、積極的に取り組めなかった。

その他（お茶等）（千円以下四捨五入）

平成30年度売上	97,000円
令和1年度売上	131,000円
令和2年度売上	50,000円
令和3年度売上	10,420円

・メンバー、職員のお茶購入となっている。

③ ダンボール、金属等回収販売実績

平成30年度	151,300円
令和1年度	111,930円
令和2年度	119,400円
令和3年度売上	174,580円

・金属の高値が続いている。事務所等の閉鎖によるロッカーやスチール机の回収があり、段ボール等の収入減を補填できた。

④ フリーマーケット（出店料収入）実績

平成30年度（6回開催）	263,000円
令和1年度（6回開催）	209,500円
令和2年度（7回開催）	198,000円
令和3年度（4回開催）	107,000円

・感染者が多い時期は、日程に空きがあっても開催を見合わせた。
・まん延防止等重点措置適用により直前での中止が二回あった。

⑤ クロネコDM便収入実績

平成30年度	236,689円
令和1年度	179,873円
令和2年度	184,579円
令和3年度	177,070円

・年々配達数が減少している。コロナ禍の影響はあまり感じない。
・手袋、マスクの着用、消毒液の携帯等、感染対策を徹底して取り組んだ。



⑥ 自販機 収入実績

平成30年度	62,500円
令和1年度	60,410円
令和2年度	54,792円
令和3年度	49,831円

- ・自販機の売り上げ減は、店舗前の人通りの減少を表している。
(平成22年度をピークとして、減少を続けている)

⑦ 清掃作業 収入実績

アイフル店舗 (三箇所・週二回)

平成30年度	84,800円 (8月～)
令和1年度	125,035円
令和2年度	123,000円
令和3年度	158,204円

- ・使い捨て手袋を使用し、感染対策を徹底して作業に取り組んだ。
- ・お客様が入っている時は、時間をずらして対応した。

芸術学園 (週一回・一時間程度)

平成30年度	36,000円 (12月～)
令和1年度	117,500円
令和2年度	82,500円
令和3年度売上	82,500円

- ・令和2年度と同様、感染対策のための休校等があり、本来の契約よりも作業日数が少なかった。

ケアハウス土佐 (週五日・半日)

平成30年度	368,760円 (10月～)
令和1年度	953,460円
令和2年度	959,000円
令和3年度売上	932,040円

- ・作業前の検温、手指の消毒等、感染対策を徹底して取り組んだ。

ゴミ、不燃物の片付け、草引き、引越し手伝い等の労役

平成30年度	407,542円
令和1年度	275,400円
令和2年度	186,710円
令和3年度売上	657,280円

- ・大口の依頼 (ゴミ等の片付け、処分) が複数件あり、収入増につながった。
- ・コロナ禍もあり、無人の場所 (住人のいなくなったアパート、住宅等) の清掃、片付けを中心に取り組んだ。

⑧ 作業活動総収入

平成30年度	7,036,493円
令和1年度	7,057,449円
令和2年度	6,128,631円
令和3年度	5,414,725円

・令和2年度以上にコロナ禍の影響を強く受けた一年だった。

⑨ メンバーに支払った賃金総額

平成30年度(22人)	5,605,050円
令和1年度(21人)	5,531,550円
令和2年度(21人)	5,394,900円
令和3年度(21人)	5,260,170円

・令和2年度以上に、令和3年度はコロナ禍の影響を受け、大きく収入が落ち込んだ。それでも、メンバーの工賃はなんとか現状維持とした。総支給額の微減は出勤日数減のため。

工賃について

こうち福祉会

工賃については、各事業の授産収入から必要経費を差し引いたものを、各事業に従事したメンバーに配分をする。また、基本給については、工賃評価基準表に基づき10段階評価し、皆勤賞をとりいれ、支給している。評価については1年に1回行うものとする。但し、必要がある場合は、随時、評価の見直しを行う。

こうち福祉会

工賃支給規定

ライフ・ステージ あおぞらセンター
蒼空舎
第2あおぞら

(目的)

第1条 この規定は、利用者に対して授産収入を工賃として配分するための基準を定めるものです。

(定義)

第2条 工賃とは、授産収入から授産事業に必要な所定の経費を差し引いたもので、給料として支給することにより、労働意欲を高め、生活に潤いを与え、地域生活への移行助長を図るものです。

(工賃の種類)

第3条 工賃の種類は、職能給、諸手当及び賞与とします。

- 1 職能給は評価基準表により算出されたものとします。
- 2 諸手当は、皆勤手当とします。
- 3 賞与は授産収入の状況に応じて支給します。

(支給額)

第4条 工賃は日給制で、支給額は、次により算出した額とします。

- 1 職能給 評価基準表により利用者の作業態度及び作業能力を評価した点数により設定し、設定された単価に出勤日数をかけたもので算出をします。
- 2 皆勤手当 月毎に支給をします。
- 3 ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウィルスの欠勤支給
発症日より2週間内の作業日については日給を支給する。皆勤手当は欠給とする。
尚、給食は3日間を徴収する。

(支給日)

第5条 毎月の工賃の支給は、月末を締め日とし、翌月5日を支給日とする。賞与は、7月と12月に支給する。但し、支給日が休日にあたる場合は、翌日を支給日とします。

(勤務)

第6条 1日の勤務時間は、各作業毎に設定。半日以内の遅刻、早退については、2分の1出勤とします。また、半日を超える遅刻・早退については欠勤とします。

(作業評価)

第7条 作業評価は、別表の工賃評価基準により評価するものとし、年度末(3月)に評価会議を開催して評価を行います。但し、特に必要がある場合は随時評価の見直しを行うものとします。
新規利用者の作業評価は、利用開始から3か月後に行うこととします。

(評価会議)

第8条 評価会議は、工賃評価基準をもとに審議するものとし、施設長、管理者、サービス管理責任者、作業及び生活支援者等により構成します。

(諸帳簿)

第9条 工賃の支給状況を常に明確にするため、次の簿冊を備えるものとします。

- 1 工賃集計表
- 2 作業日誌
- 3 作業評価表

(特別休暇)

第10条 利用者に次の各号のいずれかに該当する事情が生じた場合または願い出により、所定の日数の特別休暇が与えられます。また、特別休暇は有給とし、その間に休日があるときはこれを控除する。

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1 本人が結婚するとき | 5日以内 |
| 2 子が結婚するとき | 3日以内 |
| 3 配偶者が出産するとき | 3日以内 |
| 4 配偶者、父母、子が死亡したとき | 3日以内 |
| 5 兄弟姉妹、配偶者の父母が死亡したとき | 3日以内 |
| 6 祖父母、叔父叔母が死亡したときは無給とするが、皆勤の対象とする | 3日以内 |
| 7 これにかかわる欠食については請求の対象としない | |

(その他)

第11条 この規定に定めていない細部の事項については自治会及び職員会で協議の上で対処する。

附則

この規定は、平成21年4月1日から施行する。

この規定は、平成22年4月1日から一部改定して施行する。

この規定は、平成24年1月1日から一部改定して施行する。

この規定は、平成26年7月1日から一部改定して施行する。

この規定は、令和3年7月30日から一部改訂して施行する。

クッション

ライフ・ステージ あおぞらセンター

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。

給食費保障による実支給を行う。

*合計人数 11人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	15400	12540	10560	7700	5500
基本日給(円)	700	570	480	350	250
該当者	1人		1人	2人	4人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	4400	3740	2640	2420	2200
基本日給(円)	200	170	120	110	100
該当者	2人	1人			

箱折り**ライフ・ステージ あおぞらセンター**

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。
各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。
給食費保障による実支給を行う。

*合計人数 2人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	15400	12540	10560	7700	5500
基本日給(円)	700	570	480	350	250
該当者			1人		1人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	4400	3740	2640	2420	2200
基本日給(円)	200	170	120	110	100
該当者					

野菜加工
ライフ・ステージ あおぞらセンター
蒼 空 舎
(あおぞらファクトリー)

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。
各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている

*合計人数 14人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	55,000	46,200	37,400	28,600	23,100
基本日給(円)	2,500	2,100	1,700	1,300	1,050
該当者	0人	0人	0人	1人	5人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	19,800	17,600	15,400	13,200	11,000
基本日給(円)	900	800	700	600	500
該当者	3人	2人	2人	0人	0人

内1名はよさこい工房で、工賃に関しては時給計算としている。(時給500円)

てぶくろ

ライフ・ステージ **あおぞらセンター**
蒼空舎

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。
各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。
給食費保障による実支給を行う。

*合計人数 12人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	28,600	24,200	19,800	15,400	13,200
基本日給(円)	1,300	1,100	900	700	600
該当者	1人		4人	3人	3人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	11,000	8,800	6,600	5,500	4,400
基本日給(円)	500	400	300	250	200
該当者	1人				

畑ばたけ

ライフ・ステージ **あおぞらセンター**
蒼空舎

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。
各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。
給食費保障による実支給を行う。

*合計人数 10人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	56,000	41,800	33,000	24,200	19,800
基本日給(円)	2,300	1,900	1,500	1,100	900
該当者			1人	3人	6人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	15400	11000	8800	6600	4400
基本日給(円)	700	500	400	300	200
該当者					

G就労

ライフ・ステージ 蒼 空 舎

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分は下記の通りになっている。

※一般就労併用の2名を含む。

*合計人数 7人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	35,200	33,000	30,800	28,600	26,400
基本日給(円)	1,600	1,500	1,400	1,300	1,200
該当者				2人	3人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	24,200	22,000	19,800	17,600	15,400
基本日給(円)	1,100	1,000	900	800	700
該当者	2人				

あおぞらショップ

ライフ・ステージ 第2あおぞら

評価ごとの工賃については下記の通りになっている。

各部署の令和3年度末の配分(見込み)は下記の通りになっている

*合計人数 21人

	評価10	評価9	評価8	評価7	評価6
基本月給(円)	33000	29700	26400	24200	22000
基本日給(円)	1500	1350	1200	1100	1000
該当者					3人

	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
基本月給(円)	19800	17600	15400	13200	1100
基本日給(円)	900	800	700	600	500
該当者	3人	6人	9人		

令和3年度 工賃実績・令和4年度 工賃目標

蒼空舎：就労継続支援B型

事業	員数	工賃実績 (令和3年度)	工賃目標 (令和4年度)
畑	11人	23,618円	27,000円
手袋	12人	17,687円	18,000円
野菜工房	14人	28,840円	34,000円
清掃	5人	29,909円	30,000円
一般就労併用者	2人	3,591円	3,600円
平均		23,589円	26,000円

第2あおぞら：就労継続支援B型

事業	員数	工賃実績 (令和3年度)	工賃目標 (令和4年度)
第2あおぞら	21人	22,780円	23,000円
平均	21人	22,780円	23,000円

給与を労働時間数で割り、5時間労働、22日勤務で計算している。

(給与÷労働時間数×5時間×22日÷皆勤手当1000円)

※ コロナ禍の早期収束がない限り、工賃は現状維持が精一杯と思われる。

※

給食弁当

ライフ・ステージ 蒼空舎
あおぞらセンター
第2あおぞら

調理員：久米ゆかり

1、嗜好調査と平均所要カロリーの摂取について

- 5月には嗜好調査、栄養所要量の算定を行い、献立作成に役立て、毎月の献立が年齢別、性別、労作に見あった内容となるように食事の提供に努めた。食物アレルギーの人に関しては、除去したり、別のものに対応した。
- どうしても食べられない人には、細かく切る、少なく入れるなど、少しでも口に入れられるようにした。
- 肥満傾向の人や、カロリー制限が必要な人に関しては、ご飯の量を少なく入れるようにしてバランスをとっている。

- ・ 毎月の献立を、家庭、グループホームに配布し、1日30品目を目指し、バランスの取れた食事を心がけてもらった。
- ・ 新しい献立の取り入れや行事食、弁当配達については、その都度話し合いをした。行事食では、7月の七夕、8月のバーベキュー、12月のクリスマス、2月の節分、3月のひなまつり等には、巻き寿司、ちらし寿司、デザートなど、季節の物を取り入れ、彩りよく仕上げた。
- ・ コロナ緊急時には、緊急対策弁当でグループホームと連携対応した。

2、食材に関して

- ・ 「自家農園」の収穫物の種類も増え、年中通して色々な野菜が補えるようになり、業者で注文するよりも新鮮で安い食材が使えるようになった。収穫の時期には畑班との連絡を、こまめに取り合っている。
- ・ 急な野菜の収穫には、献立のメニュー変更等で対応している。
- ・ 地元産の春野米や、よさこい工房で作られた加工品も献立に取り入れ、給食で使用した。

3、食数について

- ・ 毎朝、各作業所よりファックスで食数を連絡してもらって、お弁当をだしている。
- ・ 1日約120食（5月現在）を調理員3名で作っている。
- ・ 5ヶ所への給食弁当の配達には専任者があたった。



4、衛生について、

- ・ 「HACCPに沿った衛生管理」の制度化に伴い、衛生管理の実施状況の記録、保存等行い食中毒の予防に気を付けた。食品の納入時には、表面温度もチェックし、食品の加熱加工冷却温度を計り、記録していった。
- ・ 厨房の床や器具は、毎日清掃、アルコール、熱湯消毒をして、安全衛生には、十分気をつけている。
- ・ 厨房内では専用のスリッパ、帽子を着用している。
- ・ 食堂は、アクリル板を設置し、アルコール消毒しコロナ感染予防に努めた。

5、腸内細菌検査について

- ・ 腸内細菌検査を、第2月曜実施に定めてから、遅れることなく、腸内細菌検査を実施できている。



グループホーム〈共同生活援助・包括型〉

ライフ・タウン あおぞらホーム
ライフ・タウン 蒼空舎

サービス管理責任者：杉本 郁

1 事業の目的

ライフ・タウンあおぞらホーム及びライフ・タウン蒼空舎において実施する共同生活援助（介護サービス包括型）事業が、日本国憲法及び施設の理念に基づき、適切な運営の確保管理を図るとともに、共同生活住居において利用者の意思及び人格尊重し、利用者の立場に立った適切な障害福祉サービスを提供することを目的とする。

2 運営の方針

「ともにかがやき、ともに暮らす」の基本理念のもと、障害があっても地域のなかで普通に暮らし続けることができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びに置かれている環境に応じて、事業所に規定する共同生活を営むべき住居において、食事の提供、その他の日常生活上のサービスを適正に行った。サービスの実施に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めた。

3 入退居状況（オリーブ家・丘含む）

入居者 4名 退居者 6名（マンション 4名 自宅 1名 病院 1名）

男性ホーム 18・女性ホーム 7 合計 25ホーム（定員 109名）

4 職員の状況（オリーブの家含む）

管理者 2名 サービス管理責任者 5名 25ホームに専任の共同生活支援員
24名）家庭生活支援員 12名 生活支援者 9名 夜間支援員 26名 看護師 5名

5 利用者の状況（オリーブの家含む）

【性別】	男性	60名	【障害支援区分】	区分6	1名
	女性	32名		区分5	1名
				区分4	29名
オリーブ	男性	8名		区分3	26名
	合計	100名		区分2	31名
				区分1	7名

6 職員会議・研修等

- ・障害福祉サービス施設・事業所職員のための感染対策研修（8月）
- ・障害者虐待防止法研修（12月）
- ・強度行動障害講師による研修（1月）
- ・新任職員研修（3月）

グループホーム会を月に2回開催し、それぞれの入居者の情報を支援者が共有し、支援に努めるとともに生活課題に対する共通意識化を図った。



8 節季・生活の彩り

コロナ禍において行事の中止・自粛

各メンバー誕生日に誕生会を各ホーム内で実施。

9 見学・体験入居

高知市立特別支援学校、日高養護学校・みかづき分校、山田養護学校、相談支援事業者他、ご本人、ご家族の希望に応じ随時見学者を受け入れた。

地域移行をスムーズに行うため、体験入居サービスを提供

体験入居者 実績日数 32日 人数 8名（うち3名入居）

10 防災計画・訓練

年3回の防災訓練を実施

辰の尾防災会と神田・船岡自主防災会の合同炊出し訓練（11月）

11 苦情・相談

苦情解決体制として①苦情解決責任者②苦情受付担当者③第三者委員を設置し、苦情をマイナスのイメージでとらえるのではなく「利用者の声」として積極的に取り組み、福祉サービスの質の向上を図った。

12 コロナウイルス感染について

1年間、常にメンバー、職員の健康観察を行い、門前でシャットアウトするという法人ルールでの隔離者がいる状態で隔離者へ昼食弁当を配達。世話人も朝・夕の食事やおやつを個別に届けるなどの支援を行ってきた。

3月にはコロナウイルス感染者2名（病院入院1名ホテル療養者1名）確認。いずれも軽症であったが、既存のグループホームやマンションの空室利用の静養室も満室となり物理的、人的にギリギリのところまで支援を行った。

1.3 今後の留意

- ・通常の支援の在り方でははみ出してしまい、熟成できないまま本人の思いで退所してしまう事例が続いている。
- ・グループホームでは、様々な経歴の世話人が入職してくるが権利侵害を受けやすい知的障害のある方が安心して障害福祉サービスを利用するためには質の高い従事者の確保・定義と人材育成が求められた。

相談支援事業

ライフ・サポート あおぞら

指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

指定一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)

相談支援専門員：土門 義和

1. 相談活動

相談支援専門員の専従が3名となった。各市町村や他法人からの依頼等も含め、福祉サービスを使わなくなった方や他事業所に依頼した方等、終了した方もいらっしゃいましたが、令和3年度もいの町の委託業務も継続し、前年度より15名増の契約者数にて計画相談を実施している。

モニタリングについては生活・活動先が同法人利用者においては、受給者証更新月の翌月20日前後に必ず行い、モニタリング時に検討や話し合いが必要な方も同時に行うようにしてきたが当法人以外の方も含めコロナ禍により施設側のロックダウン等で定期的モニタリングが中止となるケースも複数件あった。

計画作成した方については、ご本人・保護者様の思いと将来的な展望及びモニタリングも含め、各支援機関への計画書の提示を行うとともに障害特性に合わせた支援方法の工夫等の支援依頼を行った。また、サービスの変更や支給量の変更による施設への見学同行等の支援を実施した。

また、相談支援専門員の基本的な抑えも等もできるよう当事業所内において1/M程度の内部勉強会を開催することにより、障害福祉サービスにおける申請等の基本的なことや、福祉に関する様々な事の勉強を行った。外部より講師を招いた講義や、他相談支援事業所も交えた勉強会の開催し、提出書類等の留意点や書き方への修正を行うと共に共通認識化を図り、内部書類等についても統一の基、活動できるように努めた。

2. 利用者の現況

契約者数：248→263名	(内訳) 同法人利用者	→127→119名 (-8名)
(基本相談も含む)	他法人利用者等	→121→144名 (+24名)
	(地域) 高知市内	143→150名 (+7名)
	高知市外	105→113名 (+8名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
更新等	12件	6件	9件	13件	8件	12件	18件	8件	25件	23件	26件	27件	187
モニタリング	25件	17件	36件	29件	43件	46件	20件	12件	17件	20件	20件	29件	314
計	37件	23件	45件	42件	51件	58件	38件	20件	42件	43件	46件	56件	501

前年 37件 29件 45件 42件 49件 54件 38件 25件 41件 45件 45件 45件 495

3. 職員の状況

管理者：1名、 相談支援専門員：3名（専従）

4. 参加研修等

- ・高知市相談支援事業所 連絡会&勉強会（現在1 / 2M 偶数月実施）
- ・高知市相談支援検討会（1～2 / 1～2M H28.10～実施）
- ・いの町定例会（4回 / Y）
- ・四国地区知的障害関係施設長会議 1名
- ・つながる Festa～ひきこもり講演&交流会 1名
- ・高知県 DWAT スキルアップ研修 1名
- ・高知県 DWAT 活動訓練in須崎市 1名
- ・令和3年度四国ブロック主任相談支援専門員養成研修 1名

5. 今後の課題について

年々利用者数が増加している中で日々の業務に追われた。コロナ禍ということもあり研修等の縮小や中止があった。

内部の勉強会等を継続しながら相談支援専門員としてのスキルアップが図れるよう必要な研修等に参加し、担当が一人で抱え込まない様、内部で定期的に協議・検討する場を持続しながら相談支援専門員相互の動きにも気を配っていけるよう取り組んでいきたい。

また、相談支援専門員は現場や家庭等に出向き話をする事が多い中、色々な相談も受け直接動いてしまうケースもあるが、相談支援専門員としての立ち位置を再確認し、担当者会を意味あるものとして機能させ各事業所と連携し統一した支援ができるような組立が必要である。

R.3年度においては当事業所における ICT モデル事業の申請が通り効率化を図るための整備の準備が進められている中で個人情報の取り扱いに留意しながら最大限の活用方法を模索・実施しモデル事業としての報告ができるよう整えていく事が必要である

障害者支援活動

社会福祉法人こうち福祉会

- ・事業別支援会議を月 1 回以上行ったが、コロナウィルス感染防止の為法人全体職員会は開催せず各事業所別の代表が集まり月 1 回運営委員会を開催し、情報の共有化、支援技術の向上を計った。
- ・家庭との連携による支援体制の強化に勤めている。
- ・利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて利用者及びその家族が希望する生活や課題を明らかにし、適切な支援内容の把握に基づき到達目標を設定しサービス担当者会議を経て個別支援計画を作成している。
- ・全体研修として、「虐待防止研修」を行い令和 3 年度から支援の専門性を学べるよう具体的ケース事例に即して「強度行動障害研修」を取り組みました。また、コロナ禍によりオンライン研修が発展したので複数名での研修参加を実施することが出来た。
- ・ICT 事業の申請が通り①ライフ・ステージあおぞらセンター②ライフ・タウン蒼空舎③ライフ・サポートあおぞらの 3 拠点で現在は利用している。④ライフ・ステージ蒼空舎⑤ライフ・ステージ第 2 あおぞら⑥ライフ・タウンあおぞらホームの 3 拠点については年度末に申請が通り現在利用に向かって整備をすすめている段階である。今後は、法人全体でどのように個人情報管理を行い必要な情報を共有していくことが課題である。

利用者の地域生活活動

コロナウィルス感染防止の為、法人全体での行事は自粛し事業所別での活動を行なった。

安全・衛生活動

- ・防災避難訓練 ※コロナウィルス感染防止のため全て自主訓練として実施
あおぞら・・・8月 31 日 / 11 月 25 日 / 2 月 24 日
蒼空舎・・・8月 17 日 / 11 月 16 日 / 2 月 8 日
第 2 あおぞら・・・8月 18 日 / 11 月 30 日 / 2 月 2 日
- ・健康診断
検診バスにて実施 9 月 1 日
高知西病院健康管理センター 1 月 11 日 / 1 月 13 日
- ・給食 咀嚼、偏食の指導
- ・衛生指導 感染症の予防（手洗い、うがい等）
施設内の消毒、検温

職員構成

管理者	3名（兼任）
事務長	1名
サービス管理責任者	9名 （あおぞら・1名、蒼空舎・2名（兼任）、第2あおぞら・1名（兼任）、 あおぞらホーム・4名、ライフ・タウン蒼空舎1名）
相談支援専門員	3名
支援員	20名 （あおぞら・6名、蒼空舎・11名、第2あおぞら・3名）
共同生活支援員	24名
日中生活支援員	12名
看護職員	1名
調理員	3名 （あおぞら・1名（栄養士）、蒼空舎・1名（栄養士）、第2あおぞら・1名）
計	76名（72名）

医療連携医	3名
委託看護師	5名
会計士	1名
講師（(陶芸、ちぎり絵、体操)	3名
家庭生活支援員	12名
夜間支援員	27名
宿直者	2名